



和小だより

弟子屈町立和琴小学校

6月30日 発行者 校長 渥美清孝

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)

アンサンブ・ヒーロー

校長 渥美清孝

6月に入り、蝉の音が聞かれるようになりました。夏の訪れを誇るような力強い声と運動会に向けて一杯努力した子どもたちの頑張りが重なります。

日本全国で夏の風物詩として知られるミンミンゼミ。その生息地の北限は、和琴半島なのだそうです。孤立した生息地だということで、その貴重性から1951年に天然記念物に指定されています。屈斜路地区は、まさに自然の宝庫ですね。

さて、昨年はコロナ禍により、開催できなかった運動会でしたが、今年度は自治会、保護者の皆様のご理解により、規模を大幅に縮小した形式で実施いたしました。参加・観覧対象を児童・保護者に限定し、午前中のみ短時間での開催ではありましたが、感染症予防対策を万全に行い、大きな怪我や事故なく開催できましたことに感謝しております。今年度の反省を来年度に繋げてまいります。

奇しくも、昨年度中止で、今年度開催という点においては、東京オリンピックと同じです。現在、7月下旬以降の実施に向け、国を挙げての準備が進められています。おそらく、コロナ収束前の開催準備ということで、私の想像を絶するような大変な苦労があるのだと思います。この苦労の多くは報道もされないでしょうし、出場する選手のように表彰されたり、スポットライトを浴びたりすることもないのだと思います。それでも、ひたむきに支えてくれる数多くの人があってこそその開催だということを私たちは忘れてはいけません。

「緑の下の力持ち」という言葉がありますが、まさに選手や競技を支える多くの人たちは、この言葉のように頑張ってくれているのです。標題の言葉も「讃えられることのない英雄」というような意味で用いられます。

陰徳という言葉を知ったことがあるでしょうか。隠れた善い行いを指し、「陰徳を積む」などと使われます。

おそらく、アンサンブ・ヒーローたちは、陰徳を積んでいるのであり、そのことによって充実感を味わっているのでしょう。とかく人は、「頑張っているのに認められない。」と卑屈になりがちですが、陰徳を積み、誰にも知られなくても、何かに貢献していることの自信と誇りを持ち、自分自身の行いや考え方を前向きにしていくことが、実は、自ら幸福を呼び寄せる生き方なのだとされます。表だって讃えられることは少ないのかも知れませんが、周りに貢献したという自らを評価する感覚により、自然とセルフイメージが高まるのがアンサンブ・ヒーローたちにとっての豊かな報酬と言えるのかも知れません。

運動会は、7名の子どもたち全員が、選手としてヒーローであり、実行委員会委員としてアンサンブ・ヒーローでもありました。子どもたちの頑張りを支えてくださり、本当にありがとうございました。

< 7月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	木	安全点検日 図書館バス	14:20 15:20	○
2	金	町研の日	12:00	×
3	土	週休日		×
4	日	週休日		×
5	月		14:20 15:20	○
6	火		14:20 15:20	○
7	水	全校朝会	14:20	○
8	木	参観日 (保護者面談)	14:20	○
9	金		14:20 15:20	○
10	土	週休日 いじめ撲滅サミット		×
11	日	週休日		×
12	月		14:20 15:20	○
13	火		14:20 15:20	○
14	水	内科検診	14:20	○
15	木	水泳授業 図書館バス	14:20 15:20	○
16	金	夏のふるさと体験学習	14:20 15:20	○
17	土	夏のふるさと体験学習	14:20 15:20	×
18	日	週休日		×
19	月		14:20 15:20	○
20	火		14:20 15:20	○
21	水	全校朝会	14:20	○
22	木	海の日		×
23	金	スポーツの日		×
24	土	週休日		×
25	日	週休日		×
26	月		14:20 15:20	○
27	火	1学期終業式	14:20 15:20	○
28	水	夏季休業開始(～8月23日)		×
29	木			×
30	金			×
31	土			×

※昨今の状況から予定が変更になる可能性があります。ご了承ください。

6月の和っ子

<スローガン Best memories 協力！元気！一生懸命！ みんなでがんばった運動会>

6月19日（土）に令和3年度の運動会を行いました。今年の運動会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年の自治会との合同運動会を断念し、保護者と児童での運動会とさせていただきます。また、時間も午前中のみとし短縮した形で行いました。子どもたちは、昨年開催できなかったことを思うと、できることがまずうれしいと話す様子が見られ、前向きに捉えていることがわかりました。

朝のパワーアップタイムや体育の時間等を使った「長縄跳び」や「和っ子ソーラン」の練習では、先生の話をよく聞き、目標を立て、そこに向かってどう取り組むかの考えを話し合い、話し合ったことをもとにポイントを絞って練習する姿が見られました。実行委員会では、スローガンを決めて、作ったり、用具の準備をしたり、本番で用具を出し入れする担当を決めたりとここでも



考えて話したり、動いたりする姿が見られました。

それぞれの目標を決め、練習や準備を一生懸命がんで迎えた運動会当日。開会式で印象に残ったのは、児童会長のあいさつです。運動会ができる喜び、感謝の気持ちをしっかりとみんなの方を向いて話す姿が大変立派でした。もう一つは低学年2名の選手宣誓です。元気な声ではっきりと宣誓する姿がとても良かったです。 競技



では、徒競走の走りにそれぞれの成長を感じました。「玉入れ」「ぼくのチームは何色？」「リレー」の団体種目は保護者とチームを組んで行いました。総練習では、青組がやや優勢でしたが、本番では6年生率いる赤組が底力を見せました。

練習の成果を発揮した長縄跳び、和っ子ソーラン。親子で楽しく取り組んだ「屈斜路は摩周メロンの名産地!」。競技、準備等最後まで本当にみんながよくがんばった運動会になりました。来年は子供たちのがんばりを地域の皆様にも見ていただきたいです。



<リモート活動>

5月29日（土）に土曜授業を行いました。普通授業2時間の後、それぞれのタブレットを持ち帰り、保護者の協力を得ながら、ネットにつながりリモート活動をしました。リモート活動では、主にグーグルクラスルームのミーティングという機能（ZOOMのような）を使って行います。兄弟同士が近くでも活動できるように、ヘッドセットも持ち帰りました。音が聞こえにくいなど、多少のトラブルはありましたが、どの学年もしっかりつながって活動することができました。いざというときに、学習を保障する準備がまた一つ整ったと感じた活動になりました。

<いじめアンケートの結果>

今月、今年度1回目のいじめアンケートを行いました。結果は以下の通りです。この結果に甘えず、これからも児童1人1人の様子をしっかりと観る、話をしっかりと聴くことを全教職員が努めてまいります。

4月から今までいやな思いをした（仲間はずれ、無視 たたかれたり、けられたり等して）	0人
友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりした	0人
いやな思いをしたときだれに相談するか	先生 父や母 友人 兄弟 親戚 等

